



区の手続きや施設・イベント案内は  
せたがやコール ☎5432-3333 FAX5432-3100

午前8時～午後9時  
年中無休

# 特集 「キャリア・未来デザイン教育」の 実現に向けて



幼児と小学生の交流

ゆめ 夢をかなえるためには「なりたい」という強い気持ちが必要

サッカー日本代表の

権田修一選手にインタビュー

ワールドカップドイツ戦について

ドイツ戦は、接戦になるイメージがあったので、いろんな準備をしていました。その中で、前半にPKを与えてしまって、個人的にはとても悔しかったです。チームが勝つために切り替えて、後半もしっかり自分の仕事をやるということを大事にした結果、4本連続のシュートを止めることができました。試合をととしても最少失点で抑えられ、勝利につながって良かったです。



インタビューの続きは8面に掲載しています！

問 教育総務課 ☎5432-2745 FAX 5432-3028



区の鳥  
「オナガ」

[特集]  
「キャリア・未来デザイン教育」  
の実現に向けて

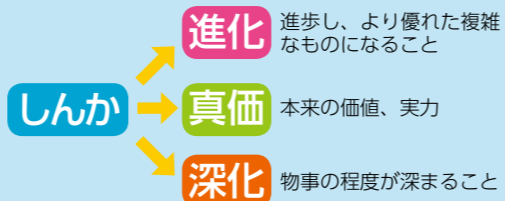
- ..... 1-3
- 新・才能の芽を育てる体験学習 ..... 4
- 大学との連携／よりよい学びを実現する教育環境の整備 ..... 5
- 児童・生徒の特別表彰 ..... 6
- ビブリオバトル／ガリレオコンテスト ほか ..... 7
- 教えて！せたがやの星  
サッカー日本代表  
権田 修一 選手 ..... 8

# 「キャリア・未来デザイン教育」の実現に向けて

～「しんか」による新しい取り組み～

キャリア・未来デザイン教育は、子ども一人ひとりの多様な個性や能力を伸ばし、変化の激しい時代を生きるために必要な資質・能力を培い、地域社会で活躍できる子どもの育成をめざす世田谷独自の教育です。

今回は、「キャリア教育」の推進に向けた3つの「しんか」による取り組みを紹介します。



## 取組み 1 研究指定校による 学校教育の進化

「キャリア・未来デザイン教育」の推進に向け、今年度は15校を研究指定校と定め、キャリア教育やせたがや探究的な学び、体力向上へ取り組むことで、教育活動の**進化**をめざしています。

### 世田谷小学校

教師は、子どもと共に探究する一員である

「子どもと共に創る授業」を合言葉に、教師が教え込むのではなく、子どもが主体的に学ぶ授業の創造に取り組んでいます。



### 八幡小学校

学校でしか味わえない体験と追求

クラウドファンディングによって実現した活動や、「謎の種」を解明するために知的好奇心をもった子どもたちが研究者のように探究する活動——より魅力的で効果的な探究型授業づくりを追求しています。



### 太子堂中学校

多様な生き方を見通し、キャリアを形成する

将来、社会の担い手となる子どもたちが、生涯探究し、必要なキャリアを形成することによって自己実現をめざしています。

## 取組み 2 リアルな職場体験により 子どもが真価を発揮する

「職場体験の日は、いつもより元気に挨拶をして出ていきます。」こんな声をご家庭から届いています。生徒たちは、職場体験を将来に結び付く自分事として捉え、自らの**真価**を発揮して主体的に取り組んでいます。

### 八幡中学校

中学校1年生では、働くことの意義や苦勞、喜びを実感し、将来の職業観、生き方への意識を高め、2年生で職場体験につながるよう、「働くことについて、仕事について」



ワークショップの様子

講師よりお話を伺いました。

中学校2年生では、地域の商店などで、一人ひとりの興味・関心に合わせた職場に、3日間の体験に行きました。生徒たちからは、「働くことはお金のためだけでなく、自分のやりがいを見つけるためのものだった。」などの感想が聞かれました。



衣料品店での職場体験

### 駒留中学校

中学校2年生では、食品の会社の方々に来ていただき、職業講話を行いました。マグロの解体から始まり、お寿司の握りの実演もありました。生徒たちからは、「先人の熟練された技術や絞り出された知恵などを、受け継ぎ磨いてきたのだと思った。」などの感想が聞かれました。



伝統染物体験の様子

### 富士中学校

「インテリアコーディネーター」「介護士」「染物屋」「ファッションデザイナー」「アナウンサー」「アロマセラピスト」「指揮者」の方に学校へ来ていただくことで、工夫して、職業体験を行いました。

生徒たちからは、「体験したらすごく楽しかった。将来働くときには日本の伝統的な職業もよいと思った。」「自分にむいていても好きという気持ちがないとその仕事を続けるのは難しいと思った。」などの感想が聞かれ、これからの自分の生き方について、考えるきっかけとすることができました。



## 取組み 3 教員研修の転換による 指導力の深化

世田谷区教育委員会では、「キャリア・未来デザイン教育」の推進に向け、教員向けの研修において子どもたちの学び（授業観・学習観）と同様、教員自身の学び（研修観）を転換し、工夫をして実施することで、指導力の**深化**に取り組んでいます。

### 成長速度を速めるICTを活用した研修



・集合型、オンライン型、オンデマンド型等、教員一人ひとりに配備されているタブレット端末を活用した研修を実施しています。  
・集合型研修においてもタブレット端末を持参し、児童・生徒同様、ICTを文房具として使用して学んでいます。(写真参照)

### 多様な見方・考え方を育む協動的な研修



・研修の中に他者との対話や振り返りの機会を確保し、協動的に学びあえる研修を実施しています。  
・初任者研修では、数名のグループに分かれ学習に活用できる動画を作成する課題に取り組み、協動的に学びました。(写真参照)



職業体験や学校の行事等で素晴らしい体験をしているんですね。

そうですね。そして、子どもたちが培ったことを将来につながる記録（履歴書）として役立てるのが、「キャリア・パスポート」です。学校や家庭、地域で体験したこと、その時の目標や振り返り、さまざまな足跡を小学校入学から高等学校の卒業まで記していきます。

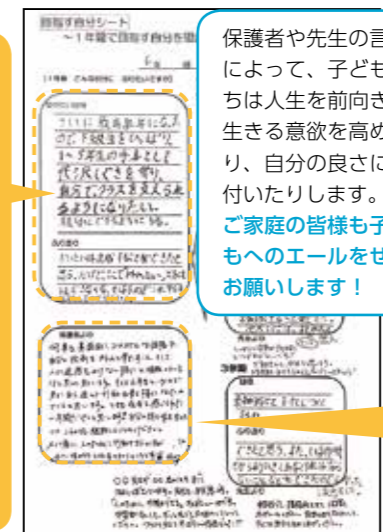
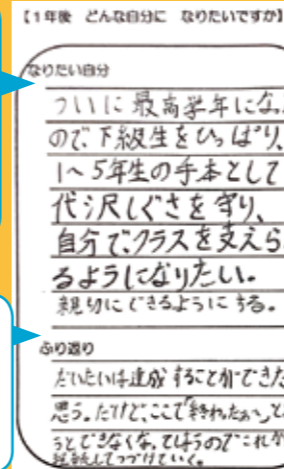


## Part 1

# キャリア・パスポートは、子どものサポーター

なりたい自分を思い描くことで、「今の自分の姿」に気づき、必要な力を身に付ける計画を立てられます。

振り返りによって、明日の自分の進むべき道を示すことができます。



保護者や先生の言葉によって、子どもたちは人生を前向きに生きる意欲を高めたり、自分の良さに気付いたりします。ご家庭の皆様も子どもへのエールをぜひお願いします！

保護者より  
何事も真面目にコツコツと性格が、自分の役割をきちんと果たす。そして、人に迷惑をかける癖に頑固なところも見ています。そして6年生のうちは、更に自ら進んで行動出来る様に両親のサポートをしたいと思います。成長を感じてくれたらいいですね。一年間ありがとうございました。自分の持ち味を生かす。今も頑張っています。これからも頑張ります。

## 令和4年度 キャリア教育推進連携シンポジウム 「文部科学大臣表彰」受賞

この度、世田谷区教育委員会は、令和5年1月19日(木)に文部科学省、経済産業省、厚生労働省主催の令和4年度キャリア教育推進連携シンポジウムにおいて「文部科学大臣表彰」を受賞しました。これまで世田谷区が推進してきましたキャリア教育の取り組みや顕著な功績が認められての受賞となりました。

表彰式に参加し、文部科学大臣より表彰状を受け取った渡部教育長は、各学校の取り組みへの感謝と今後のさらなるキャリア教育の推進に向けて抱負を述べられました。



# 新・才能の芽を育てる体験学習

将来の夢や希望をもち、豊かな人生を送れることを願い、講座を開設しています。

## アメリカの大学ってどんなとこ!?

～謎解きを通して外国の文化と英語に触れよう!～

(小学3～6年生)

アメリカの大学の区内キャンパスで、スカベンジャー・ハント(アメリカ版宝探し)をしました。



お話も、謎解きの問題も全て、英語でした。新しい体験ができて楽しかったです。



オリンピックで使う器具を使う経験ができてうれしかったです。



## 速く走れる技術を身につけよう!

(小学3・4年生)

大学の広いグラウンドでスターティングブロックを使って実際に走る体験をしました。



料理の用語の意味を作りながら学ぶことができました。



## プロから学ぶお菓子作り～「作り込む」を楽しもう!～

(中学生)

未来のパティシエを育てている先生方に、お菓子の作り方、大事なポイントを教えてもらい、それぞれの作品ができました。



## サイエンスドリーム「光を分けてみよう」

(中学生)

大学の研究室にある本格的な器具を使い、実験を体験しました。

大学生が行っている実験を体験できたので、良い経験になりました。

蚕に初めて触れた!新しいことも知ることができました。



## クイズで再発見!昆虫の不思議

(小学3・4年生)

蚕に触れたり、観察したり、昆虫について深く学ぶ機会となりました。

新・才能の芽を育てる体験学習は、探求、表現、体力・健康、国際理解、環境の5つのテーマの中から、普段の授業ではなかなか体験・体感できない活動をとおして、興味・関心を広げ、将来の夢や希望を持ちたくましく生き抜く力を育てていくことを目的としています。

問 生涯学習・地域学校連携課 ☎3429-4262 FAX 3429-4267

# 大学との連携～幼児期からの芸術体験の取組み～

子どもたちが文化や芸術に身近に触れることで、豊かな感性や創造性の基礎を育むことができるように、区内の大学と連携し、幼児期からの芸術体験の取組みを進めています。

今年度は、区内の幼稚園・保育園で、昭和女子大学と連携した楽器の生演奏を体験する「ムジカ」と、東京都市大学と連携した「粘土遊び」の体験を実施しています。

## 楽器の生演奏の体験「ムジカ」を楽しもう!



弦楽器で「となりのトトロ」



管楽器でクリスマス・メドレー

初めて見る楽器や、間近で聴く楽器の生演奏に興味津々



大学生と一緒にイメージづくり

ちぎったり、こねたり、丸めたり、踏んだり、粘土相手に大奮闘

ブルーシートの上で創作体験



## 「粘土遊び」イメージを形にしよう

問 乳幼児教育・保育支援課 ☎6453-1531 FAX 6453-1534

# よりよい学びを実現する教育環境の整備

小・中学校のトイレについては、改築・改修の機会を捉えて、トイレの洋式化を推進しています。令和4年度は、小学校6校、中学校1校の一部のトイレを全面改修して便器を洋式化しました。令和4年度末時点におけるトイレの洋式化率は72%になる予定です。引き続き、東京都が目標に掲げる80%への早期実現に向けて取り組んでいきます。

また、小・中学校の手洗い・水飲み場にある水栓について、新型コロナウイルス感染症をはじめとする、あらゆる感染症の予防対策として、順次、一部の水栓を自動水栓に交換しています。令和4年度は、小学校10校、中学校10校、幼稚園8園において実施しました。



改修により洋式化したトイレ(用賀小)

問 教育環境課 ☎5432-2659 FAX 5432-3029

# 児童・生徒の特別表彰

(令和4年度)

教育委員会では、スポーツや文化活動などの大会やコンクールですばらしい成績を収めた区立学校の児童・生徒を表彰しました。

児童特別表彰 (小学生・個人)			
(1) スポーツ活動 24件			
氏名	学校名	学年	活動内容
堀 航太	桜小学校	5年	空手
鈴木 悠斗	多聞小学校	6年	水泳
有定 天	多聞小学校	5年	ウェイクボード
真野 纂	上北沢小学校	6年	陸上
栗原 大駕	山崎小学校	6年	野球
鈴木 碧乙	笹原小学校	4年	なわとび
佐々木 望花	玉川小学校	5年	空手
久野 佑隼	玉川小学校	5年	テニス
石田 陸	奥沢小学校	5年	カート
荒井 紗乃	尾山台小学校	3年	空手
川上 和奏	東深沢小学校	5年	水泳
三平 彩椰	東玉川小学校	5年	ダンス
小林 永真	等々力小学校	3年	空手
漆谷 康志郎	等々力小学校	1年	空手
小林 治真	等々力小学校	1年	空手
高谷 尚都	等々力小学校	1年	空手
渡邊 比呂翔	等々力小学校	1年	空手
支倉 蒼侍	用賀小学校	6年	野球
谷口 夏音	砧小学校	6年	空手
梯 太陽	芦花小学校	5年	水上スキー
大津 慶太	船橋小学校	4年	水泳
中川 葉月	給田小学校	2年	テニス
鈴木 仁子	千歳小学校	6年	テニス
山崎 慧梧	希望丘小学校	5年	キックボクシング

児童特別表彰 (小学生・団体)			
(1) スポーツ活動 4件			
学校名	団体名		
中丸小学校 池尻小学校 二子玉川小学校	下馬L.M.C.ジュニアフレンズ (バトントワーリング)		
笹原小学校	BXSkipper D (なわとび)		
船橋小学校	船橋フェニックス (野球)		
経堂小学校 二子玉川小学校 山野小学校 千歳小学校	世田谷ブルーサンダースSE (フラッグフットボール)		

児童特別表彰 (小学生・団体)			
(2) 文化活動 1件			
学校名	団体名		
千歳小学校	吹奏楽団		

生徒特別表彰 (中学生・個人)			
(1) スポーツ活動 21件			
氏名	学校名	学年	活動内容
小島 莉々愛	太子堂中学校	2年	水泳
鈴木 真翔	太子堂中学校	2年	水泳
橋本 香蓮	太子堂中学校	1年	水泳
兒島 惟高	桜丘中学校	2年	セーリング
鈴木 小暖	桜丘中学校	2年	なわとび
手島 敬汰	駒沢中学校	3年	陸上
三井 心	駒沢中学校	3年	陸上
新谷 雄三	緑丘中学校	3年	野球
岡田 武大	駒留中学校	2年	野球
齋藤 吟平	駒留中学校	2年	スケートボード
久保田 悠介	富士中学校	3年	野球
東條 暖	富士中学校	2年	陸上
中村 海咲	弦巻中学校	3年	陸上
今泉 朝統	玉川中学校	3年	野球
三木 心愛	玉川中学校	2年	アーティスティックスイミング
平沼 愛美	深沢中学校	3年	新体操
蟹江 佑樹	烏山中学校	1年	空手
田中 ひなの	千歳中学校	3年	アーティスティックスイミング
田中 陸	上祖師谷中学校	3年	レスリング
寺田 七将	砧南中学校	3年	野球
榎本 明空	世田谷中学校	2年	空手

生徒特別表彰 (中学生・団体)	
(1) スポーツ活動 10件	
学校名	団体名
駒沢中学校	女子陸上競技部
深沢中学校	男子ソフトテニス部
深沢中学校	女子卓球部
用賀中学校	男子陸上競技部
桜丘小学校 塚戸小学校 芦花小学校 松沢中学校 烏山中学校 千歳中学校 上祖師谷中学校	世田谷キッズチアリーディングクラブ ALL STARS
千歳中学校	陸上競技部
烏山中学校 上祖師谷中学校	チアダンスクラブCHARME千歳烏山
砧南中学校	男子ソフトテニス部
砧南中学校	女子ソフトテニス部
船橋希望中学校	男子陸上競技部

生徒特別表彰 (中学生・団体)	
(2) 文化活動 3件	
学校名	団体名
深沢中学校	吹奏楽部
船橋希望中学校	吹奏楽部 サクソフォン5重奏
船橋希望中学校	吹奏楽部 打楽器4重奏

生徒特別表彰 (中学生・団体)	
(3) その他 (善行) 2件	
学校名	団体名
駒留中学校	生徒会
世田谷中学校	生徒会

☆掲載のご了承をいただいた方のみ、掲載しています。[敬称略]

☎ 学校職員課 ☎ 5432-2672 FAX 5432-3025



## 知的書評合戦

人を通して本を知る、本を通して人を知る

# 第5回 世田谷区立中学校ビブリオバトル大会

令和5年1月28日(土)に、世田谷区立中学校図書館教育研究部主催の「第5回 世田谷区立中学校ビブリオバトル」が世田谷区立教育総合センターで開催されました。ビブリオバトルは、参加者が自分が読んで面白かった本の魅力を発表し合い、投票で「チャンプ本」(最も読みたいと思った本)を決定します。

今回は、前年度より多い36名が6グループで予選会を行い、その中で選ばれた6名の生徒たちが本選に進みました。大会を通し、自分の紹介する本の良さや、本に対する思いなどを一人ひとり個性豊かに表現しました。

## 予選を通過した6名の皆さんと紹介本

発表者	学校名	紹介本
松沢中学校	中里 紫乃	『ソバニールヨ』 喜多川 泰
緑丘中学校	松山 蒼	『変な家』 雨穴
駒留中学校	加藤 麻依子	『ツナグ』 辻村 深月
駒留中学校	齋藤 龍之介	『残像に口紅を』 筒井 康隆
桜木中学校	直江 悠月	『明日から使える死亡フラグ図鑑』 茶んた
尾山台中学校	川名 彩月	『朔と新』 いたう みく

## チャンプ本 『残像に口紅を』 筒井 康隆



チャンプ本に選出されて嬉しいです。発表する際に、本の面白さを伝えられるようにピカソの名前(93文字)を例えとして入れるなど工夫をしました。今までは、短い(短編)小説を読んでいましたが、今回300ページ程の小説を読んだので、今後はもっと長い(長編)小説を読みたいですね。

☎ 教育研究・研修課 ☎ 6453-1503 FAX 6453-1534



## 夢のある研究発表が盛りだくさん!!

# 第13回 世田谷ガリレオコンテスト

令和5年1月21日(土)に、「第13回 世田谷ガリレオコンテスト」(最終審査)を実施しました。13回目の開催となった今年度のガリレオコンテストは、「サイエンス部門」と「プログラミング部門」の2つの部門を設けました。自分たちの課題解決に向け、科学的なアプローチをするのか、またはプログラミングを用いたアプローチをするのか明確になり、充実した研究発表会となりました。

当日は、2,602点の中から入賞した9名が3つのブースに分かれ、発表後に質疑応答を行うことで、今まで自身で進めてきた研究内容を深めたり、新たな研究に向けての課題や発想が生まれるような姿が見られました。また、それぞれのブースでは審査員からの質問に対し、自分の言葉で答えたり、新たな疑問に気づく姿も見られました。

賞	発表者	学校名	発表内容
ガリレオ賞 (最優秀賞)	山岸 和愛	駒沢中学校	ダンゴムシとワラジムシ
	伊藤 有香	用賀中学校	“熱湯風呂”や“アツアツあなかけ砲”は本当にあついのか? お湯の冷却実験を通して
アイデア賞 (優秀賞)	高木 一華	上祖師谷中学校	色と温度の関係
	萬 瑠乃	東深沢中学校	10分でわかる! SDGs
ドリーム賞 (優秀賞)	公文 理斗	東深沢中学校	外来種特別サイト
	五十嵐 羽瑠	芦花中学校	麺類の汁を飛ばさずに食べる
サイエンス賞 (優秀賞)	稲葉 唯	喜多見中学校	ベタの観察
	松田 ひまり	桜丘中学校	ヒートアイランドの謎を探る
	山口 日向	上祖師谷中学校	お弁当を長持ちさせる方法を考える

## 発表生徒の声

- ・皆それぞれ発表に工夫や特徴があり、その人にしかない、面白さなどがあって、今回のガリレオコンテストに出られたこと、経験できたことを今後に生かしていきたい。
- ・本当に準備が大変でしたが、とても良い経験になりました。次の自由研究も頑張りたいです。
- ・ほかの人の発表がすごすぎて「私大丈夫かな?」とずっと緊張していたのですが、楽しかったです。

☎ 教育研究・研修課 ☎ 6453-1503 FAX 6453-1534

## 教育長再任・新教育委員就任のお知らせ

令和4年12月1日付で、渡部理枝氏が教育長に再任されました。



令和4年11月29日付で、坂倉杏介氏が教育委員に就任されました。



## 編集後記

サッカー日本代表の権田修一選手が、ワールドカップが行われたカタールから帰国直後に本紙のインタビューに応じてくださいました。夢をかなえるための強い気持ちを持つことの大切さなど、大変貴重なお話を伺うことができました。ぜひインタビュー記事をお読みください!

多言語対応の電子書籍(デジタルブック)で配信をしています。

電子書籍(デジタルブック)「カタログポケット」内で、日本語から9カ国語への自動翻訳・音声読み上げ機能により、「せたがやの教育」を多言語で読む・聞くことができます。二次元コードよりアプリをインストールするか、ブラウザ版でご覧ください。



次号118号は令和5年7月に発行予定です。お楽しみに!

「なりたい！」  
という強い気持ちを持ってやるのが、  
夢をかなえるためには絶対必要です。

サッカー日本代表  
権田 修一 選手

サッカー日本代表ゴールキーパーの権田修一選手にインタビュー。12月21日に権田選手の出身校である弦巻小学校で、児童との交流イベントがあり、その際にインタビューをさせていただきました。ワールドカップでの経験談や、子どもたちへのメッセージを語っていただきました。

Profile

1989年3月3日生まれ。世田谷区立弦巻小学校、弦巻中学校卒業。ポジションはゴールキーパー。2007年FC東京トップチームに昇格し、SVホルン、サガン鳥栖、ポルティモネンセを経て2021年より清水エスパルスに在籍。日本代表にも名を連ね、FIFAワールドカップカタール2022にも選出され、日本のゴールマウスを守った。



ワールドカップを振り返って

グループリーグ2戦目のコスタリカ戦は惜しくも敗れ、決勝トーナメント進出が厳しい状況となりました。スペイン戦に向けてチームでどのような準備をされましたか。

正直、精神的ダメージをみんな受けました。とにかく予選を突破するため、僕らはシンプルに、スペイン戦は勝つんだということを中心に話していました。勝つための準備を全員で、本当に強い気持ちを持ってやりました。日本代表の強みは、みんなですっかりコミュニケーションを取って、本音で話し合いながらチームをつくっていくことです。チームには選手が26人いて、スタッフも入れたら50人くらいいるので、みんな同じ意見ってあり得ないんですよね。それぞれの考え方があって、いろんな方向性に行くんですけども、まずは吉田キャプテンが選手間で集約したことを森保監督に伝えて、最後は森保監督がこの道に進むというのを導いてくれました。

—今回のワールドカップを振り返られてどのように感じられますか。

ベスト8に行きたかったのですが、その悔しさが大きいです。どうしたら自分の力でベスト8に日本代表を連れていけたかなということが、ずっと頭をめぐっています。ただ、日本に戻ってきて、いろんな方に、「ドイツやスペインという強豪に勝って本当にすばらしかった、感動した」と言っていたので、個人的にはいろんなプレッシャーに耐えながらしっかり戦えたことはよかったかなと思います。

—プレッシャーを乗り越えるには何が必要ですか。

自分を信じることだと思います。僕もこのままでいいのかなとか、自分で大丈夫かなと思ったこともたくさんありました。自分はずっとサッカーをやってきて、厳しい

練習も、苦しいことも、いろんな我慢もして、今、日本代表という場で戦えています。今まで自分がやってきたことを信じられなかったら、自分が頑張ってきたことを全部否定することになってしまうので、最後は今までやってきたことをしっかり出すという気持ちでした。

元気いっぱい、楽しく！

—ご自身の成長につながるターニングポイントとなった出来事や試合はありますか。

正直あまりなくて、ただ、小学生のときに自分の今の成長に向けてすごく大事にしていたと思うのは、よく寝てよく食べることで、風邪も引かなかつたことで、体も大きくなりました。ターニングポイントになった試合というよりは、幼少期はまずは元気いっぱいだったことが一番大きいかなと思います。

—子どもの頃を振り返って、権田選手が日本代表の守護神を務めるまでの選手になれた要因というのは、どのようなところにあると思いますか。

まずは楽しくやるが一番大事だと思っていて、やらされてもやっぱり疲れちゃうんですよね。親がワールドカップを見て子どもにサッカーをやらせたいというのではなく、本当に子どもがやりたいというときに一生懸命やらせるという感覚が大事だなという気がします。僕は親からサッカーを強要されたことは一度もなく、逆に、「あなた勉強しないとサッカーを続けられないよ」と言われて、「それなら勉強を頑張る」というタイプでした。



子どもたちみんなに可能性がある

—今後の目標を教えてください。

一つでも上のレベルに行くこと。やっぱりサッカーをやっているからには今よりもうまくなりたい今日よりも明日のほうがいい選手になりたいというのを今までずっと追い求めてきて、これからも追い続けたいと思います。どういうところを目指したいですかと言われたら、行けるところまで行きたいなと思います。ベスト8じゃなくて、ベスト4に行きたいし、さらにその上、ワールドカップで優勝する。優勝するために自分が活躍できるようなレベルまで自分自身も上げたいですし、日本のサッカーというのをそこまで上げたいというのはすごく思っています。

—最後に世田谷区の子どもたちに向けてメッセージを。

僕も世田谷区で育った子どもなので、本当に身近に感じてもらいたいと思っています。みんな子どもときって、サッカー選手を見て、野球選手を見て、パイロットを見て格好いいなと思ったり、夢がそれぞれあると思います。僕もみんなと一緒に子ども頃はそういう夢を追いかけていた一人でした。こうやって同じ町で育った僕がサッカー選手になれたのだから、みんなにも可能性は絶対にあります。自分で、無理だよと思わないでほしいと思います。まずは一生懸命やってみる。周りから何でそんな一生懸命やっているのと言われても、俺はなりたいからという強い気持ちを持ってやるのが、夢をかなえるためには絶対必要だと思います。世田谷区から世の中で頑張って貢献できる人がたくさん出てきたらうれしいですし、その可能性がみんなにはあるので頑張ってください。そして楽しんでください。